

国語標準解答

問一	ソソケイ	①	問二	イ	問四	何 ^例 度断つても粘る眠人の姿勢から、自分も目標	問五	ウ
問一	イ	②	問三	ウ	問四	のために一つ前に進む力をもらったから。	問六	イ
問一	イ	③	問三	ウ	問四	のために一つ前に進む力をもらったから。	問六	イ

問一	ホゴ	①	問二	イ	問六	中身は入念にコントロールされてるもの。	問五	完全なセルフ
問一	保護	②	問三	エ	問六	食品のありのままで姿のようであんなもの。	問五	完全なセルフ
問一	開拓	③	問四	ア	問六	食品のありのままで姿のようであんなもの。	問五	完全なセルフ

問一	床 ^例 に敷くものであればよい。	15	問二	エ	問三	第一段落 《資料》のA、Eそれぞれの割合の変化を見ると、平成二十年度と比べて平成二十九年度は（ア ^例 Aは一四・三ポイント増え、Eは一・二・八ポイント減った）。また、A、E間の割合の差は、平成二十年度と比べて平成二十九年度は（イ ^例 大きくなった） 第二段落 ことが分かる。	問四	ウ
問一	床 ^例 に敷くものであればよい。	15	問二	エ	問三	第一段落 《資料》のA、Eそれぞれの割合の変化を見ると、平成二十年度と比べて平成二十九年度は（ア ^例 Aは一四・三ポイント増え、Eは一・二・八ポイント減った）。また、A、E間の割合の差は、平成二十年度と比べて平成二十九年度は（イ ^例 大きくなった） 第二段落 ことが分かる。	問四	ウ
問一	床 ^例 に敷くものであればよい。	15	問二	エ	問三	第一段落 《資料》のA、Eそれぞれの割合の変化を見ると、平成二十年度と比べて平成二十九年度は（ア ^例 Aは一四・三ポイント増え、Eは一・二・八ポイント減った）。また、A、E間の割合の差は、平成二十年度と比べて平成二十九年度は（イ ^例 大きくなった） 第二段落 ことが分かる。	問四	ウ

問一	(一)	問二	ア	問三	エ	問四	願得主人書	問五	1 書を讀む意欲が強い点 2 学問料
問一	(一)	問二	ア	問三	エ	問四	願得主人書	問五	1 書を讀む意欲が強い点 2 学問料
問一	(一)	問二	ア	問三	エ	問四	願得主人書	問五	1 書を讀む意欲が強い点 2 学問料

120 100 80 60 40 20

40 20

40 20